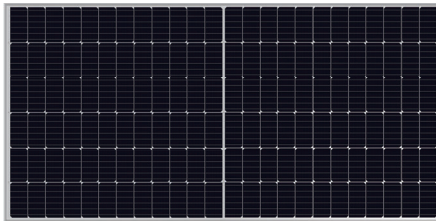


2019年8月6日  
株式会社エクソル

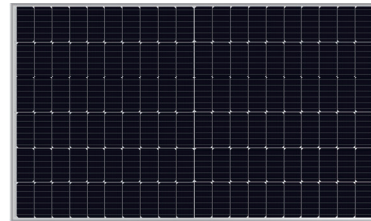
## 高出力単結晶太陽電池モジュール2種の販売を開始 未稼働案件の太陽電池モジュール変更にも最適

【情報解禁日時：2019年8月6日(火曜日)15時】

株式会社エクソル(代表取締役社長：鈴木 伸一、本社：京都市中京区)は、2019年9月より高出力単結晶太陽電池モジュール2種の発売を開始します。新規はもちろん、未稼働案件の太陽電池モジュールを変更し、収益性を最大化させるのにも最適です。



「XLM144-425L」



「XLM120-355L」

品番	XLM144-425L	XLM120-355L
公称最大出力	425W	355W
モジュール変換効率	19.1%	19.0%
サイズ	2115×1052×35mm	1776×1052×35mm
質量	24kg	20kg
希望小売価格	280,500円	234,300円

### 単結晶太陽電池モジュール XLM144-425L などの概要

XLM144-425L、XLM120-355Lは、発電ロスを抑えるPERC構造に、セル内部の電気抵抗を低減させるハーフカットセルを採用した高出力単結晶太陽電池モジュールです。同サイズの当社従来製品の中では最も公称最大出力が高く、面積あたりの発電量に優れています。

そのため、新規案件はもちろん、2019年8月2日に公布されたFIT法律施行規則の一部改正において認められた、「2015年度に認定を受け、2016年7月31日以前に接続契約が締結された10kW以上の未稼働案件の太陽電池モジュールの変更」を行い、収益性を最大化させるのにも最適な太陽電池モジュールです。

### 単結晶太陽電池モジュール XLM144-425L などの主な特長

- ハーフカットセル、PERC構造の採用により、高い出力と長期間にわたる安定した発電を実現
- 未稼働案件における太陽電池モジュールの変更による収益性の最大化にも最適

## 「XLM144-425L、XLM120-355L」の主な特長について

### ■ ハーフカットセル、PERC 構造の採用により、高い出力と長期間にわたる安定した発電を実現

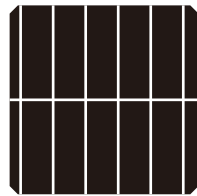
ハーフカットセルは、従来のセルを半分に切ることで、セル内部の電気抵抗を低減させ、抵抗熱の発生による出力減少を抑制。また、高温時の変換効率の低減も抑え、総発電量を増やします。

PERC 構造は、パッシベーション膜（絶縁体）でセルの裏面をコーティングし、絶縁体層を形成。表面から射す光の反射で光エネルギーを電気エネルギーへ効率よく変換し、太陽電池モジュールの変換効率を向上させました。

【セルイメージ図】

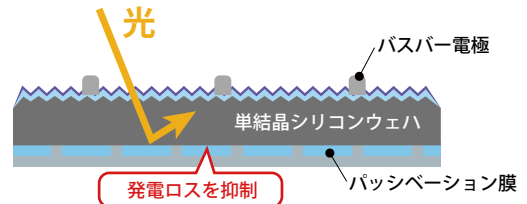


従来品  
通常セル



XLM144-425L、XLM120-355L  
ハーフカットセル

【PERC 構造イメージ図】



発電ロスを抑制

### ■ 未稼働案件における太陽電池モジュールの変更による収益性の最大化にも最適

2019年8月2日、FIT 法律施行規則の一部が改正されました。改正により、「10kW 以上の太陽光発電設備のうち、2015 年度に認定を受け、2016 年 7 月 31 日以前に接続契約が締結された案件」については、2021 年 3 月 31 日が運転開始の期限となりました。これにより、対象となる未稼働案件については速やかに着工、運転開始する必要があります。一方で、対象案件は太陽電池モジュールを変更しても買取価格が変更されないこととなりました。

そのため、高出力な太陽電池モジュールに変更することで、架台や杭、太陽電池モジュール枚数の減少、工期短縮により EPC コストが削減され、収益性の最大化を実現できます。対象となる案件で使用されている太陽電池モジュールの出力を 260W と想定すると、「XLM144-425L、XLM120-355L」に変更することで、表面利回りを 3% 向上させることが可能です。

(例) システム容量 49.5kW の発電所の場合※

※当社試算値であり、記載の数値を保証するものではありません。同一のシステム容量でも環境・条件によって異なります。また、連系負担金、土地代等は含んでおりません。

	公称最大出力 260W の モジュールを使用	XLM144-425L に 変更した場合	
モジュール枚数	360 枚	216 枚	<b>40% ダウン</b>
モジュール出力(合計)	93.6kW	91.8kW	1.92% ダウン
年間発電量	104.2MWh	107.4MWh	<b>3.12% アップ</b>
必要面積	1042.44 m <sup>2</sup>	821.44 m <sup>2</sup>	<b>21.2% ダウン</b>
EPC コスト	14,700,000 円	13,100,000 円	<b>11% ダウン</b>
初年度売電収入(買取価格 27 円の場合)	2,813,829 円	2,901,729 円	<b>3.1% アップ</b>
<b>表面利回り</b>	<b>19.14%</b>	<b>22.15%</b>	<b>3.01% アップ</b>

### — XSOL (エクソル) について —

当社は「太陽光発電の総合企業」として、再生可能エネルギーの普及促進によるエネルギー自給率の拡大や、地球環境保全を使命と考えています。そのためには、コスト低減と共に安心・安全をお届けすることが最重要と考え、機器だけでなく施工をはじめとするすべての品質・クオリティにこだわり、設計・調達・建設・メンテナンスまで含めたワンストップソリューションに取り組んでいます。

社 名：株式会社エクソル / XSOL CO., LTD.

設 立：2001 年 1 月 24 日

代表取締役社長：鈴木 伸一(すずき しんいち)

本 社 所 在 地：〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 烏丸中央ビル

ホームページ：https://www.xsol.co.jp

ひきだしたい、無限の太陽力。



<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

経営管理部 広報宣伝課：治田、片倉、塚田

TEL：03-5425-1258 (代表)